

2018 年度事業報告

(1) 2018 年度事業報告 (2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日)

[1] 健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携に係る事業

①14 回健康都市連合日本支部第総会・大会

日時：2018 年 7 月 19 日（木）～7 月 20 日（金） 参加自治体：33 参加者：765 名

会場：千葉県松戸市 森のホール 21

主催：健康都市連合日本支部、松戸市

主管：第 14 回健康都市連合日本支部総会大会実行委員会後

援：松戸医師会、松戸歯科医師会、松戸市薬剤師会ほか協

力：千葉県、認定 NPO 法人健康都市活動支援機構ほか

A. 健康都市連合日本支部総会

- ・千葉県理事長（日本支部顧問）より協議事項に以下 2 点を提示した。
 - 会員首長から未加盟の首長に加盟の働きかけを行うことを求めた。
 - 機構が「e ラーニング」による市民団体のエンパワーメントを事業化するにあたり、加盟自治体からコンテンツのアドバイスを求めた。
- ・事務局より 2017 年度の事業を報告し、2018 年度の事業計画を発表した。

B. 健康都市連合日本支部大会

- ・企業展示ブースの協賛により、大会実行委員会に資金提供を行った。

②健康都市連合 (AFHC) 理事会、第 8 回国際会議

テーマ：「私たちのまち、私たちの SDGs、私たちの歩み」 参加者：約 1200 名

会場：マレーシアサラワク州クチン市ボルネオ・コンベンションセンター

開催日：2018 年 10 月 17 日（水）～20 日（土）

主催：健康都市連合 (AFHC)、サラワク州政府、サラワク州保健局ほか

A. 健康都市連合理事会

- ・同連合の方針や運営について協議し、機構の国際支援事業を報告した。

B. 第 8 回健康都市連合国際会議

- ・基調講演を翻訳し、機関誌「ヘルシーパートナーズ 02 号」に掲載した。

③第 27 回 MOA 美術館所沢児童作品展の協賛

表彰式：2018 年 12 月 16 日（日） 会場：所沢市民体育館サブアリーナ

主催：公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

後援：文部科学省、外務省、厚生労働省、農林水産省ほか

協賛：認定 NPO 法人健康都市活動支援機構、飯能信用金庫ほか

- ・増岡参与が受賞者の児童 3 名に「みんなの健康都市賞」を授与した。

[2] 健康の推進に関する支援、協力及び企画に係る事業

① ヘルシーパートナーズモデル事業 in 松戸市

A. 松戸白宇宙かぼちゃ小学校栽培 対象：4年生児童 62名
主催：松戸市立南部小学校、矢切小学校等 5校 後援：松戸市
協力：(一社)松戸白宇宙かぼちゃの会、認定 NPO 法人健康都市活動支援機構

- ・小学校 5校が参加。栽培委員会を中心に児童約 180人が種蒔きから苗の育成まで行った苗は契約農家に引渡し、学校毎に区画された畑で定植。収穫も児童の手で行った。
- ・収穫したかぼちゃは学校給食のほか、山崎製パン株式会社による「ミニかぼちゃイ」の商品開発に活用された。

B. 花育教室
日時：2018年7月10日(火) 10:40~11:25 対象：4年生児童 62名
主催：松戸市立矢切小学校
協力：認定 NPO 法人健康都市活動支援機構、(一社)白宇宙かぼちゃの会
講師：石戸明一氏(緑花星主宰、花育アドバイザー、埼玉県園芸指導者)

- ・「かぼちゃ小学校栽培」の一環として実施。自然との関わりや生命あるものへのやさしい気持ちを育んでいく目的を学ぶと共に、感性や情操面の向上を目指した。

C. 松戸白宇宙かぼちゃ絵手紙コンテスト
表彰式：2018年10月6日(土)
来場者：合計 384人(児童、園児と家族や関係者)
共催：(一社)白宇宙かぼちゃの会 認定 NPO 法人健康都市活動支援機構
後援：松戸市 協力：松戸市食生活改善推進員 協賛：山崎製パン株式会社
対象：小学校児童約 180名及び園児約 100名
各賞：松戸市長賞、松戸市教育委員会・教育長賞、松戸市議長賞、
山崎製パン株式会社松戸工場賞、山崎直子特別賞ほか

- ・「命を大切にする感性」を絵手紙で表現し、家族や友だちなど多くの 人々にその気持ちを伝えてもらうために実施した。
- ・山崎製パン株式会社には「ミニかぼちゃパイ」を協賛いただいた。
- ・機構は企画をはじめ共用品(チラシ、ポスター、メッセージカード、参加賞、表彰状)の支給で協力した。

② ヘルシーパートナーズモデル事業 in 鎌ヶ谷市

A. 鎌ヶ谷市デリシャスウォーキング

日時：2018年10月2日（火）9:30 参加者：鎌ヶ谷市民約100名

主催：鎌ヶ谷市健康増進課

協力：鎌ヶ谷市食生活改善協議会、健康づくりボランティア団体

協賛：認定NPO 法人健康都市活動支援機構

内容：ウォーキング講座、ウォーキング、豚汁の試食と食育ほか

- ・食と運動と社会参画に取り組む健康ボランティア団体との連携が図れた。
- ・参加者が運動の習慣を身につけ、楽しみながら健康づくりに取り組み、生活を見直すきっかけづくりになった。

B. 鎌ヶ谷市福祉健康フェア 2018 参加者：鎌ヶ谷市民約800名

日時：2018年10月21日（日）9:30～14:00

主催：鎌ヶ谷市福祉健康フェア実行委員会、鎌ヶ谷市ほか

協賛：認定NPO 法人健康都市活動支援機構

- ・地域のボランティア団体、福祉関係団体、健康に関わる団体が体験教室や模擬店により、市民に楽しみながら福祉と健康に触れる機会を提供した。

C. 鎌ヶ谷市親子サンドイッチ教室

日時：2019年1月26日（土）10:00～13:00 参加者：親子9組（子供13名、保護者9名）

主催：鎌ヶ谷市食生活改善推進協議会 後援：鎌ヶ谷市

協力：認定NPO 法人健康都市活動支援機構 協賛：山崎製パン株式会社

- ・鎌ヶ谷市食生活改善推進員が山崎製パン株式会社の協力のもと開催。児童や園児、保護者たちが、親子で作る楽しさや食事の大切さを学んだ。
- ・食育による栄養バランスや生活習慣病の予防も学んだ。

③ ヘルシーパートナーズモデル事業 in 市川市

A. フレイル（虚弱）予防の講演

タイトル：人生100歳時代到来 フレイル予防とその実践

日時：2018年4月25日（水）15時～16時30分

参加者：健康都市推進員約50名 会場：全日警ホール（八幡市民会館）

講師：神谷哲郎氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員）

主催：市川市健康都市推進員会 後援：市川市保健医療課

協力：認定NPO 法人健康都市活動支援機構

- ・健康都市推進員が、地域ぐるみでフレイル予防に取り組む重要性を学んだ。
- ・フレイル予防の先進自治体である柏市への視察と、イベント（健康フェスタ）での同市フレイル予防サポーターとの連携につながった。

B. 市川健康フェスタ 2018

日時：2018年11月23日（祝・金）13時30分～16時00分 参加者：約200名
 共催：認定NPO法人健康都市活動支援機構 後援：市川市
 協賛：山崎製パン株式会社、株式会社はくばく
 会場：市川市文化会館B1階大会議室（ローズルーム）

- ・「防災と健康」をテーマに心身の健康、安心・安全なまちづくりに関する情報を参加者に伝えることができた。
- ・健康や福祉、防災をテーマに活動する市内外の団体と協働できた。

C. 親子食育講習会（サンドイッチ教室）

主催：市川市食生活改善推進協議会 後援：市川市
 協力：認定NPO法人健康都市活動支援機構
 協賛：山崎製パン株式会社

○第1回：幸公民館 日時：2018年7月31日（火）10:00～13:00

参加者：塩浜小女子バスケットボールチーム（児童13名、保護者9名）

○第2回：南行徳保健センター 日時：2018年8月30日（木）10:15～13:00

参加者：女子ミニバスケットレッツ（児童15名、コーチ・父母5名）

- ・参加者は、食べ物に興味を持ち、親子のふれあいを通して料理を作る楽しさと食べることの大切さを学んだ。
- ・食育による栄養バランスや生活習慣病の予防も学んだ。

[3] 健康の推進に関わる開発・企画調査ならびに人的貢献に係る事業

①健康都市連合日本支部加盟促進

- ・日本支部総会での協議事項に基づき「健康都市連合（日本支部）」案内冊子を作成。10月17日に開催された千葉市長会役員会で千葉理事長が参加首長に配布し、加盟案内を行った。
- ・梶本常任理事経由で大城八幡浜市長（日本支部長）に働きかけ、愛媛県、高知県、香川県、徳島県の自治体に加盟を案内した。

②日本支部との協働

- ・日本支部広報部会海外担当として、大会プログラムを英訳した。

[4] 健康の推進に関する印刷物、出版物等の編集、発行及び出版に係る事業

①「ヘルシーパートナーズ」誌の発行

- ・健康ボランティアの生きがいづくり、SDGs の「目標 17：パートナーシップの推進」、協力会員（法人、個人）並びに健康都市連合日本支部加盟促進を目的に、年 2 回（9 月、3 月）発行した。

②公式 Web サイトと「ヘルシーパートナーズ」Web サイトの運営

- ・上記 Web サイトにより、国内外の幅広い人々に情報を発信した。

③SDGs と健康都市セミナーの企画・運営

- ・SDGs と健康都市の啓発を図るとともに、自治体、NPO、研究機関、企業とのパートナーシップ構築を行った。

A. 第 1 回 SDGs と健康都市セミナー

テーマ：自治体と企業のパートナーシップが生み出すまちづくりの社会イノベーション

開催日時：2018 年 5 月 16 日（水）15:00～18:00 参加者：120 名

会場：イトーキ東京イノベーションセンターSYNQA

基調講演：蟹江憲史氏（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

事例報告：秋山浩保氏（千葉県柏市長）

似内志朗氏（日本郵政不動産株式会社プロジェクト推進部長）

コーディネート：中村桂子氏（東京医科歯科大学大学院教授）

主催：認定 NPO 法人健康都市活動支援機構 後援：健康都市連合、健康都市連合日本支部

B. 第 2 回 SDGs と健康都市セミナー

テーマ：地方創生の新ビジョン

開催日時：2018 年 11 月 2 日（金）13:00～16:30 会場：柏商工会議所 参加者：60 名

基調講演：笹谷秀光氏（株式会社伊藤園顧問）

事例報告：水野義則氏（愛知県尾張旭市前市長）、秋山浩保氏（千葉県柏市長）

実践講座：岩堀幸司氏（NPO 医療施設近代化センター常任理事）

主催：認定 NPO 法人健康都市活動支援機構

後援：健康都市連合、健康都市連合日本支部、千葉県市長会、柏市

C. 第 3 回 SDGs と健康都市セミナー

テーマ：健康寿命の延伸と自治体 SDGs の最先端

開催日時：2019 年 1 月 24 日（木）13:00～14:30 参加者：120 名

会場：東京ビッグサイト会議棟

講演①：中村桂子氏（東京医科歯科大学大学院教授）

講演②：藤岡雅美氏（厚生労働省健康局健康課課長補佐）

講演③：野村晋氏（岡山市保健福祉局次長）

松岡克朗氏（岡山市保健福祉局保健福祉企画総務課）

主催：UBM ジャパン株式会社 企画協力：認定 NPO 法人健康都市活動支援機構

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：千円)	
						支出	収入
	[1]健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携に係る事業					3,655	1,805
[1] 健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携に係る事業	①健康都市連合日本支部第14回総会・大会	2018年7月19日～20日	千葉県松戸市	15名	健康都市連合連合加盟都市	2,763	1,805
	②第8回健康都市連合国際会議	2018年10月17日～19日他	マレーシア 北クチン市	2名	健康都市連合加盟都市	892	0
	[2]健康の推進に関する支援、協力及び企画に係る事業					5,448	702
[2] 健康の推進に関する支援、協力及び企画に係る事業	①国際交流基金アジアセンターアジア・市民交流助成事業 申請	通年	アセアン諸国の都市	11名	健康都市連合加盟都市	50	0
	②JICA草の根技術協力事業申請（草の根協力支援型）申請	通年	機構事務局	4名	健康都市連合加盟都市	50	0
	③健康ボランティア団体支援モデル事業	通年	鎌ヶ谷市 市川市 松戸市	4名	モデル都市として鎌ヶ谷市、市川市、網走市	3,230	432
	④第4回機構主催セミナー（定例懇話会）	2018年5月16日	東京	11名	協力会員、健康都市連合加盟自治体職員、市民	2,119	270

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：千円)	
						支出	収入
[3] 健康の推進に関わる開発・企画調査ならびに人的貢献に係る事業	[3] 健康の推進に関わる開発・企画調査ならびに人的貢献に係る事業					317	0
	①健康都市連合加盟促進	通年	現地	2名	自治体 企業 市民	62	0
	②健康都市連合日本支部との協同	通年	現地	4名	自治体 企業 市民	255	0
	③自主事業(ヘルシ ティアド [®] ・ハイ [®] リー事 業) (2)-④を含む	通年	当機構 事務局		自治体 企業 市民	-	-
[4] 健康の推進に関する印刷物・出版物等の編集、発行及び出版に係る事業	[4] 健康の推進に関する印刷物・出版物等の編集、発行及び出版に係る事業					2,204	2,983
	① ホームページ・広報活動	通年	機構事 務局	1名	自治体 企業 市民	342	0
	②機関誌『健康都市デザイン』の出版	年2号	主に当 機構事 務局	3名	国内外の健康都市 活動推進関係者	10	2
	③Webサイト「ヘルシーパートナーズ」の運営	通年	当機構 事務局	3名	国内外の健康都市 推進関係者、当機 構会員	1,852	2,981
	④機構案内パンフ(日英版)	通年	当機構 事務局	3名	自治体 企業 市民	0	0
[5] 健康の推進に関する情報の収集、分析及び公開に係る事業	[5] 健康の推進に関する情報の収集、分析及び公開に係る事業					0	0
	①健康都市のアクセスメントに基づく評価ツールの開発	通年	当機構 事務局		自治体 企業 市民	0	0
	合計					合計 11,624	合計 5,490

2018年度活動計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

科目		金額（単位：円）	
I 経常収益			
1	受取会費		
	法人正会員入会金	0	
	法人正会員受取会費	140,000	
	法人協力会員受取会費	4,800,000	
	個人協力会員受取会費	363,000	
			5,303,000
2	受取寄附金		
		10,000,000	10,000,000
3	受取助成金		
	[2]健康の推進に関する支援、協力及び企画に係る事業		0
4	事業収益		
	[1]健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携に係る事業	1,805,136	
	[2]健康の推進に関する支援、協力及び企画に係る事業	702,000	
	[3]健康の推進に関わる開発、企画調査ならびに人的貢献に係る事業	0	
	[4]健康の推進に関する印刷物・出版物等の編集、発行及び出版に係る事業	2,982,960	
			5,490,096
5	その他収益		
	受取利息	46	
	雑収益		46
	経常収益計		20,793,142
II 経常費用			
1	事業費		
	① 人件費	0	
	人件費計	0	
	② 事業費内訳		
	[1]健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携に係る事業	3,654,835	
	[2]健康の推進に関する支援、協力及び企画に係る事業	5,448,358	
	[3]健康の推進に関わる開発・企画調査ならびに人的貢献に係る事業	317,300	
	[4]健康の推進に関する印刷物・出版物等の編集、発行及び出版に係る事業	2,203,957	
	[5]健康の推進に関する情報の収集、分析及び公開に係る事業		
	事業費計	0	
	事業費計	11,624,450	
			11,624,450

科目		金額（単位：円）	
2	管理費		
	① 人件費		
	役員報酬	0	
	給料手当	0	
	人件費計	0	
	② その他経費		
	印刷製本費	163,466	
	会議費	401,076	
	旅費交通費	96,185	
	通信運搬費	312,651	
	消耗品費	99,794	
	地代家賃	3,000,000	
	交際費	0	
	減価償却費	0	
	諸会費	69,185	
	慶弔費	0	
	租税公課	800	
	支払手数料	33,634	
	管理委託費	2,455,104	
	雑費	8,959	
	その他経費計	6,640,854	
	管理費計		6,640,854
	経常費用計		18,265,304
	当期経常増減額		2,527,838
III	経常外収益		
	1. 事業費		
	固定資産売却益	0	
	経常外収益計		0
IV	経常外費用		
	1. 事業費		
	過年度損益修正損	0	
	経常外費用計		0
	税引前当期正味財産増減額		2,527,838
	法人税、住民税及び事業税		140,000
	当期正味財産増減額		2,387,838
	前期繰越正味財産額		4,367,947
	次期繰越正味財産額		6,755,785
※当期（2018年4月1日から2019年3月31日）において、その他の事業は実施しなかった。			

2018年度 貸借対照表
2019年3月31日現在

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	8,360,255		
未収金	0		
前払費用	200,000		
流動資産合計		8,560,255	
2 固定資産			
[1] 有形固定資産			
什器備品	309,641		
減価償却累計額	▲ 309,639		
有形固定資産計		2	
[2] 無形固定資産			
無形固定資産計		0	
[3] 投資その他の資産			
投資その他の資産計		0	
固定資産合計			2
資産合計			8,560,257
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
管理委託費	365,472		
前受金			
ポータルサイト (日本経済社からの入金)	1,299,000		
他			
未払法人税等			
未払法人税	140,000		
流動負債合計		1,804,472	
2 固定負債			
長期借入金			0
固定負債合計			0
負債合計			1,804,472
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,367,947	
当期正味財産増減額		2,387,838	
正味財産合計			6,755,785
負債及び正味財産合計			8,560,257

